

總哩數

四二哩

電線ノ太サ

B. W. G. No. 14. 銅線七本撚リ

電線數

三條

各線間最大電壓

三四、〇〇〇伏ガると

#### 五 附記

工事施行ニ當リ取入口發電所間ニ帆條ヲ敷設シ諸材料ノ運搬ヲ敏活ナラシメタルヲ以テ材料ノ不足ヨリ來ル工事ノ遲滯ヲ免レ又工事竣工後ニ於テ殘存材料ヲ生セス尤モ經濟的ニ竣功ヲ告ケタリ

工事ニ使用セシせめんとハ三河せめんと株式會社ノ製品ヲ採用シこんくりーと用砂利ハ專ラ花崗石ノ碎石ヲ使用セリ

歐洲大戰ノ影響ハ爆發藥、鐵材等ノ暴騰ヲ來シタルノミナラス機械類ノ輸入殆ント絕對ニ杜絶シ爲メニ電氣事業ノ發展ニ障害ヲ及ホシツ、アルモノ渺少ナラス此間ニアリテ會社ハ諸材料ノ購入準備等其宜敷ヲ得テ些ノ頓挫ナク殊ニ英國ぼ一びんぐ會社ニ注文ノ水車ハ最モ危險地帶ヲ冒シテ其運輸ヲ遂行セシハ天佑トモ稱スヘキカ工事設計ノ詳細ハ附圖ニテ明カナルヲ以テ説明ヲ省略セリ（完）

## 淀川下流改修護岸工事

工學士並川熊次郎

第 一 號

水力發電路平面圖

備考標高二十六年十二月

下山村 盛岡村

大字山根上野山

下山村 盛岡村

賀茂

愛知縣三河東加茂郡

第 二 號

水力發電路縱斷面圖

愛知縣三河東加茂郡 下山村 盛岡村 地内

大字山根上野山

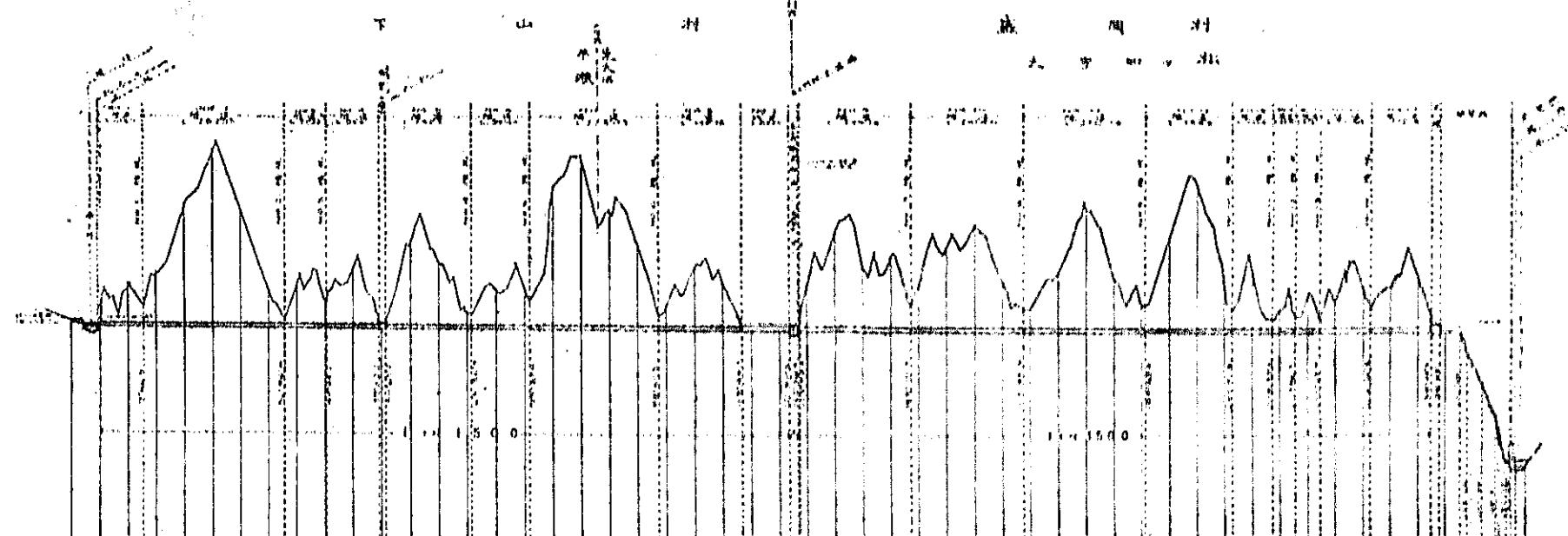
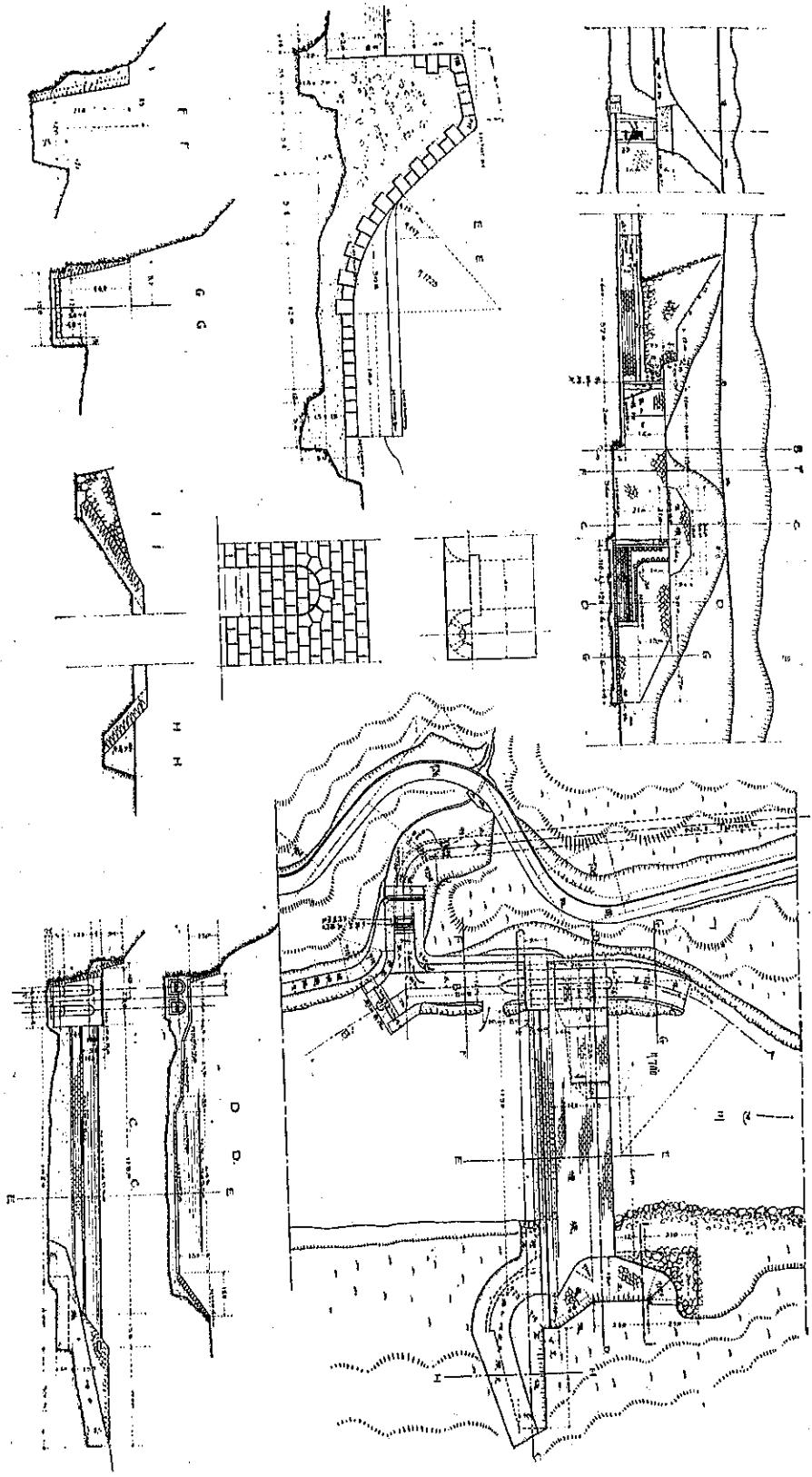
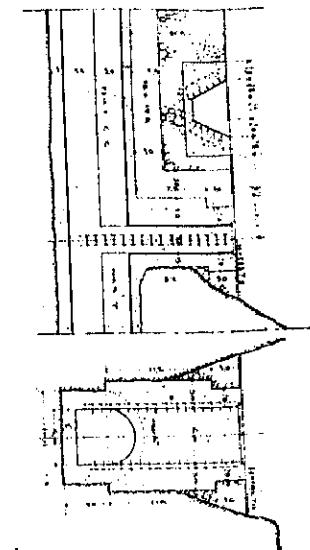


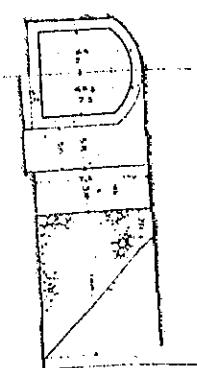
圖 口 入 取 及 堤 堤  
號 三 第



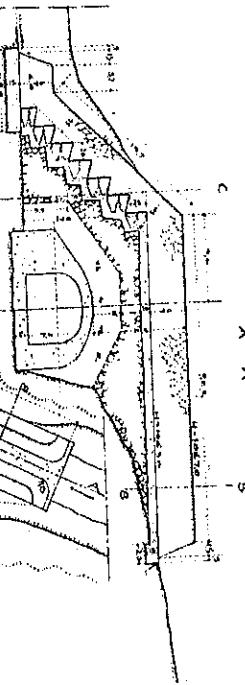
圖孔人道隧道暗



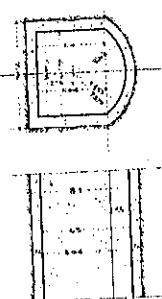
隧道圖



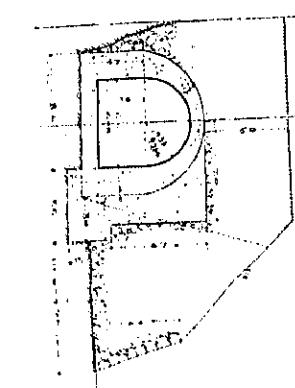
第四號



第三壹號暗渠及人孔

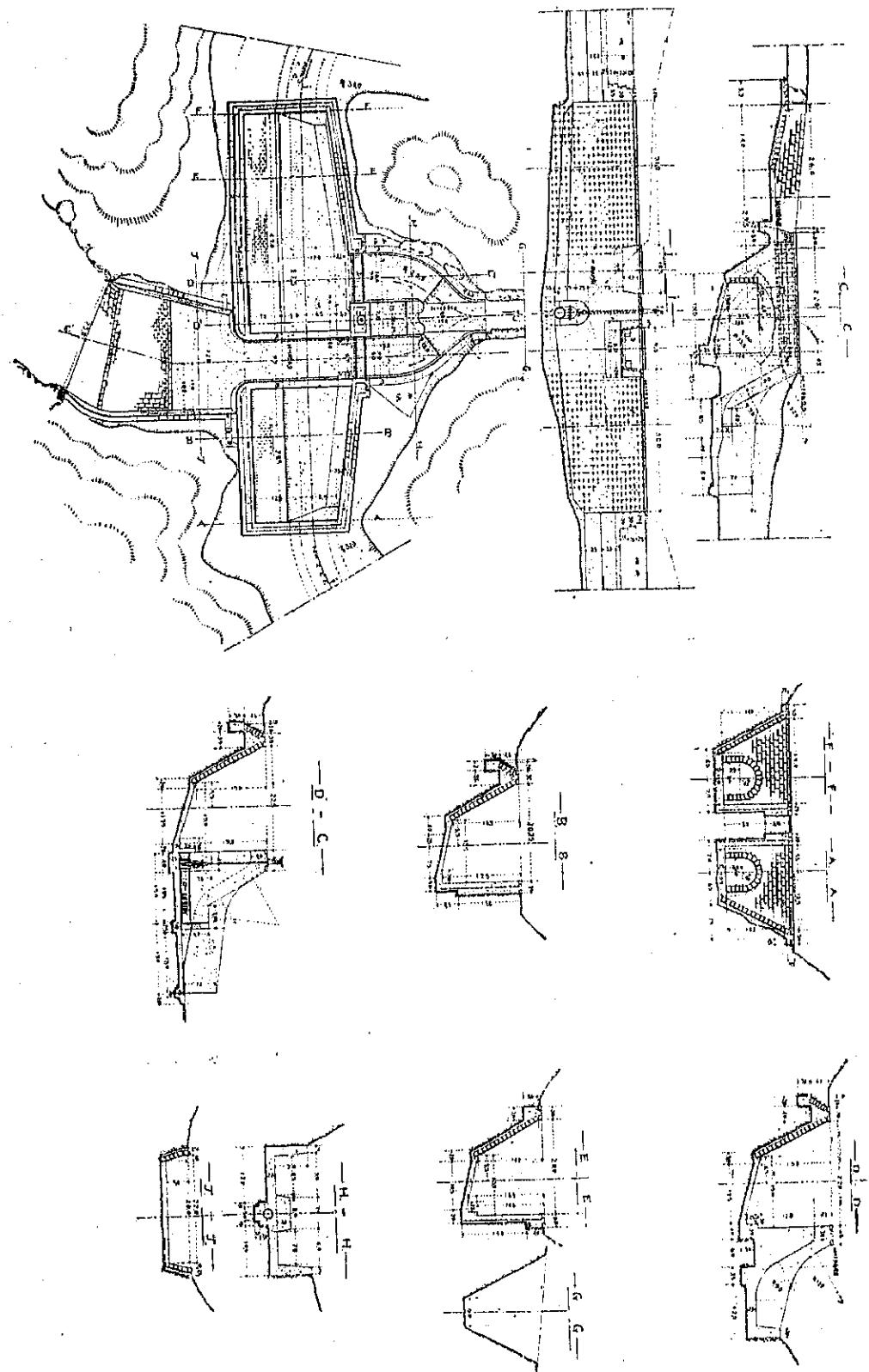


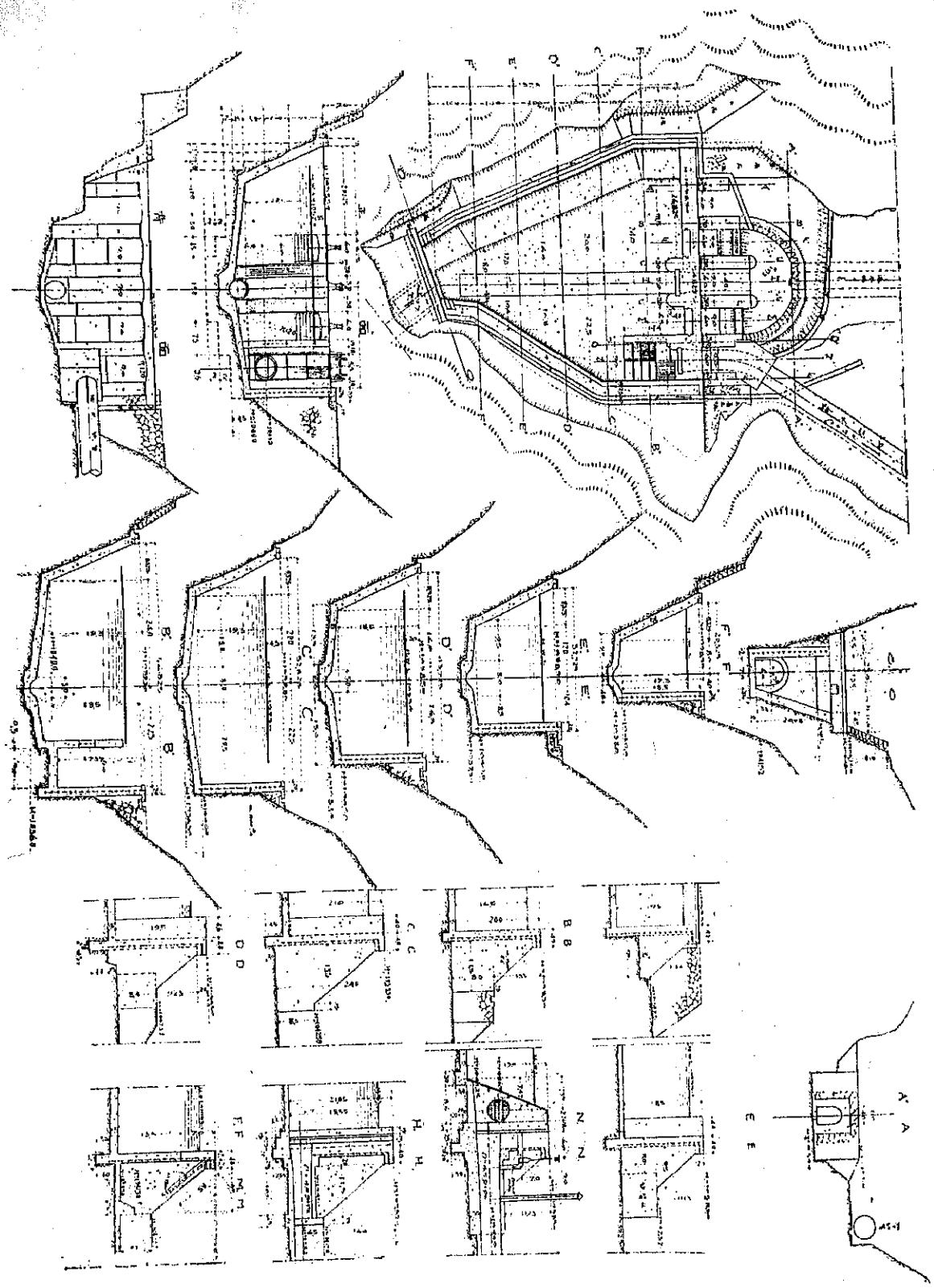
第二壹號隧道



第一壹號暗渠

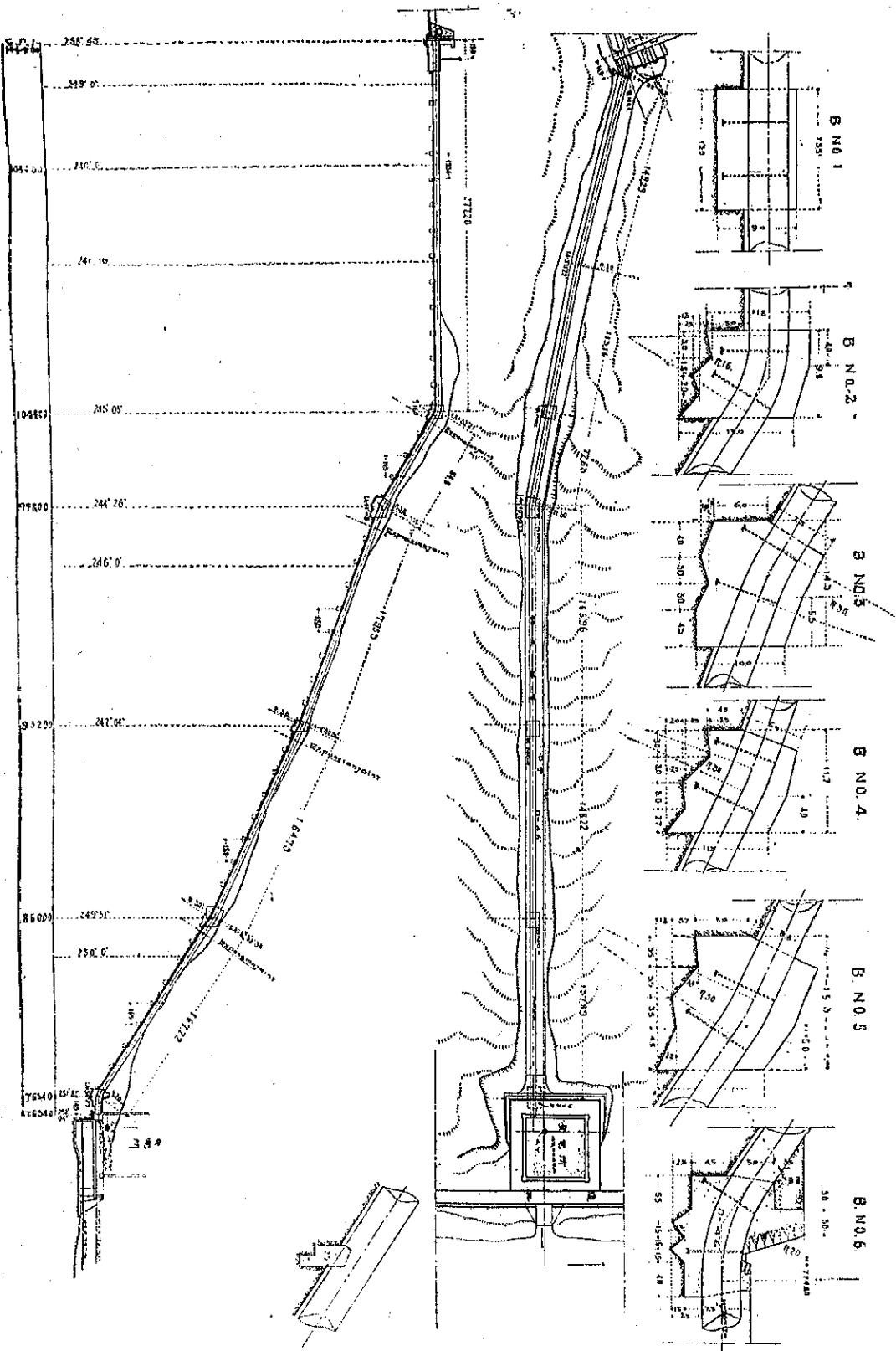
圖 池 砂 沈 號 五 第





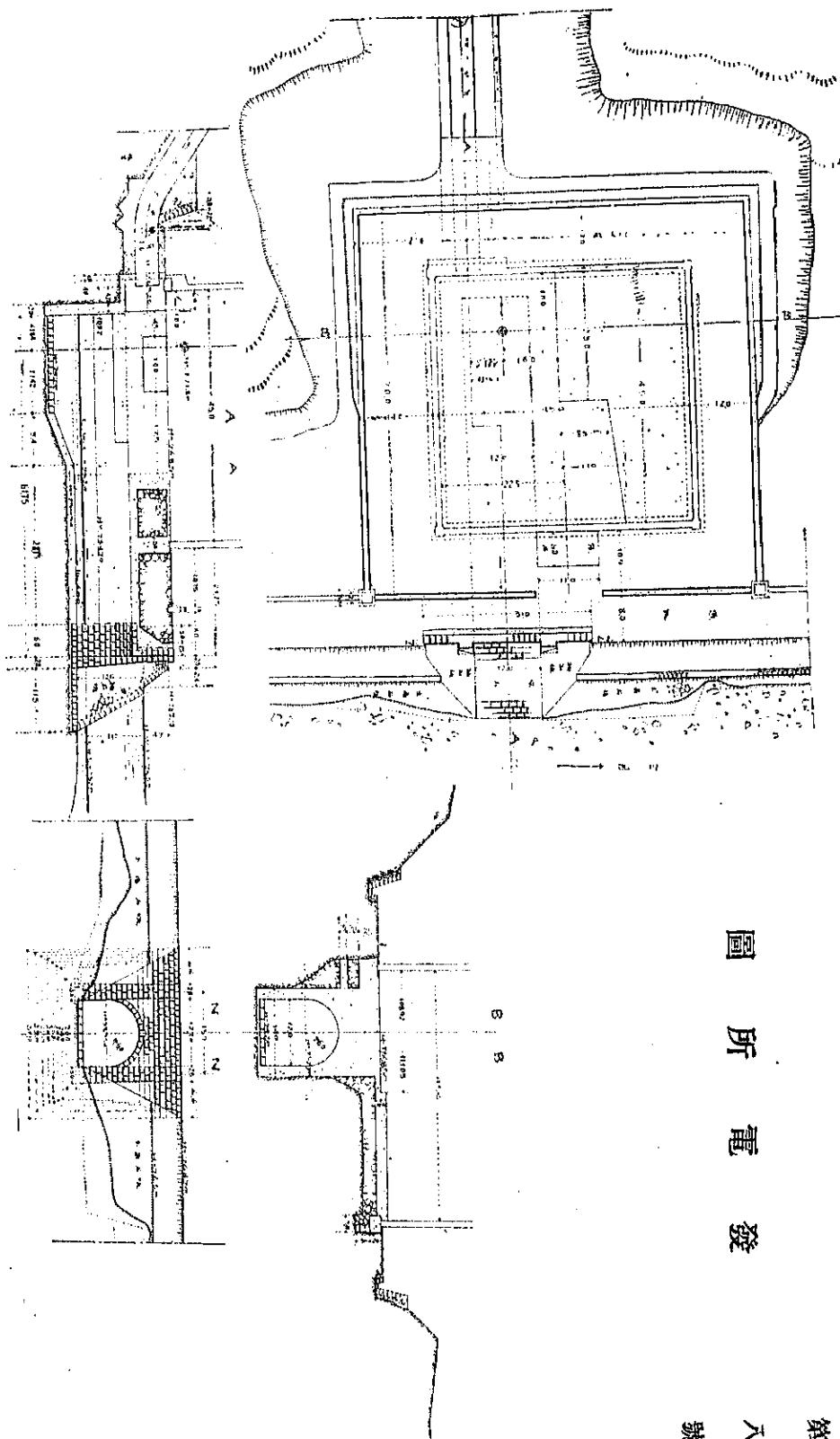
第六號

鐵路管號七號



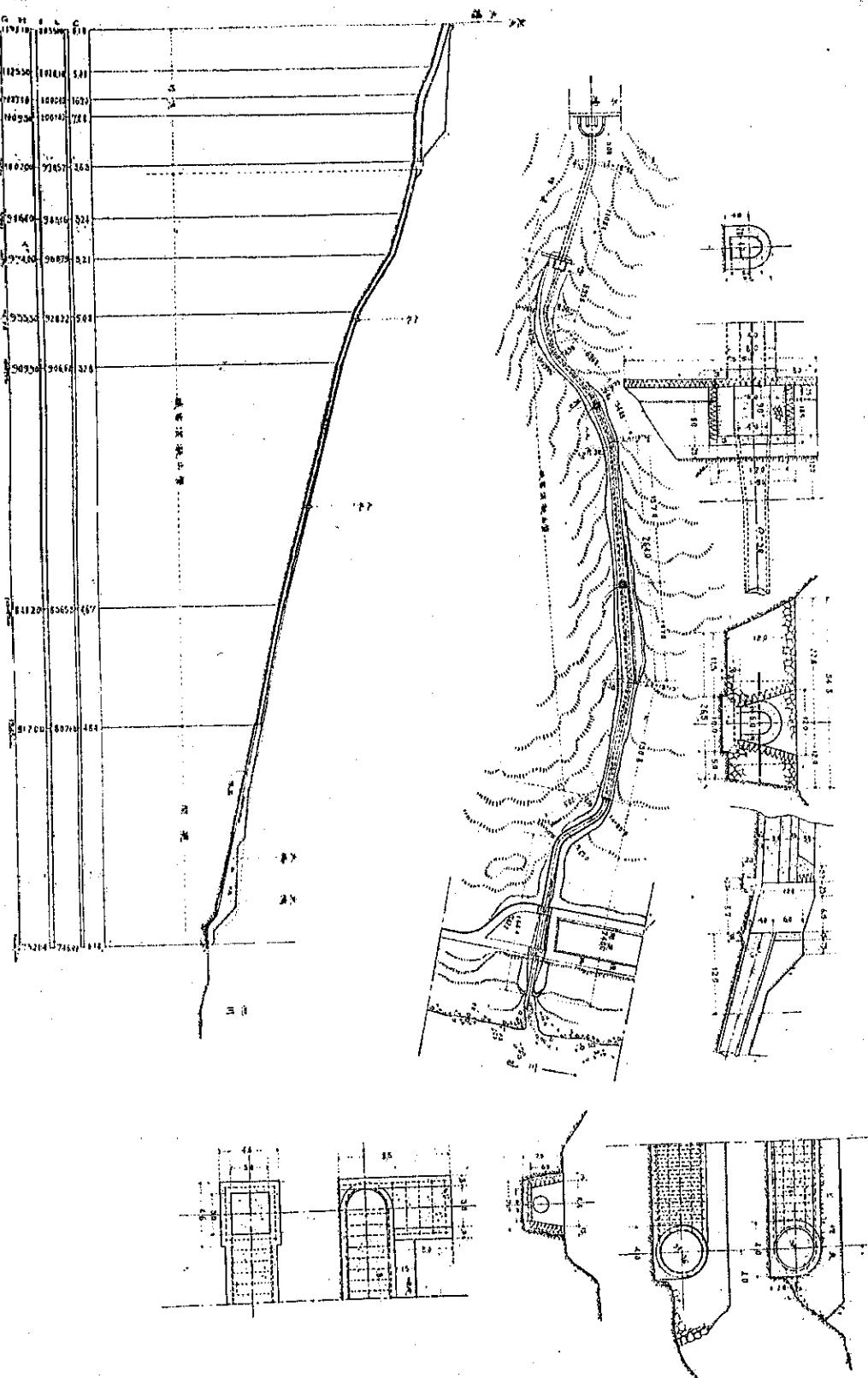
發電所圖

第 八 號



國 路 水 游

第 九 號



圖門水號十第

門水砂排槽水

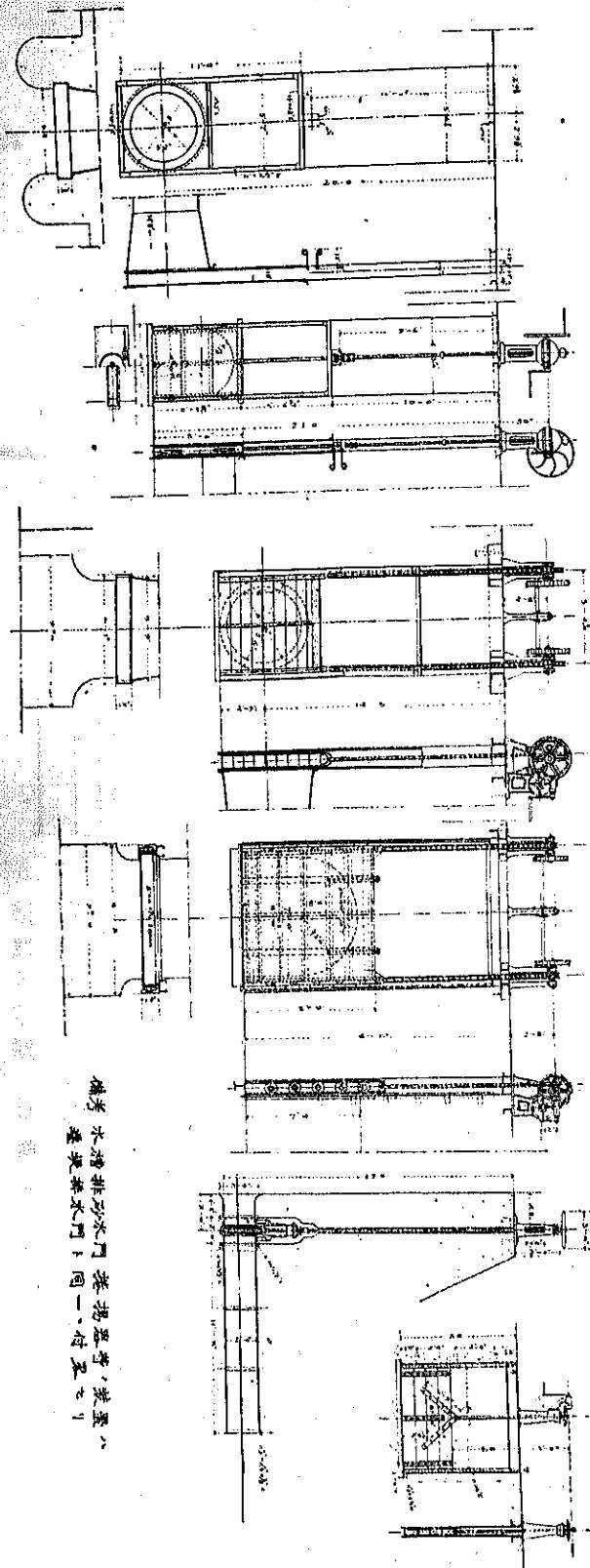
門水排堤堰

門水管鐵水給槽水

門水日人取

異利非通體

門水山茶城



淀川下流改修工事ニテハ明治四十四年十一月  
其延長約三千間ニ達セントス本工事ハ毛馬洗堰以下所謂舊淀川ヲ主トシ土佐堀、堂島兩川ノ一部  
ニ及ヒ其低水路兩岸ヲ固定スルト同時ニ曳舟荷

揚ノ便ニ供スルヲ目的下シ其斷面ヲ第一圖ノ如

ク定メラレタリ即チ矢板及ヒ其頭部連結工、控工、  
上均こんくりーと工ノ四部ヨリ成リ矢板裏ニハ  
砂利又ハ小割石ヲ填メ裏埋土砂ノ漏出ヲ防キ護  
岸前面ニハ約二間毎ニ舟擦抗ヲ打立テ舟筏ノ衝

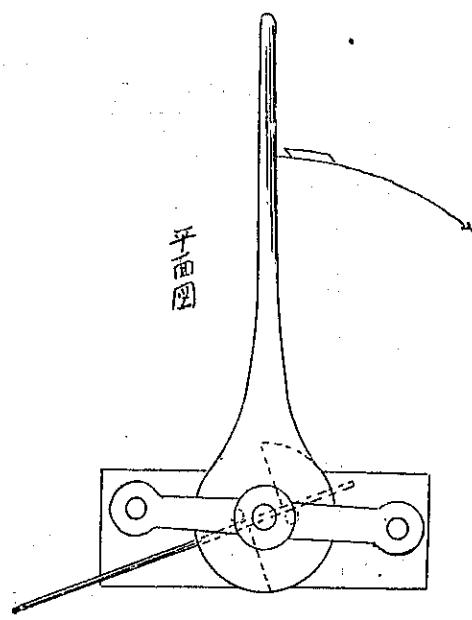
### 整ニ備フ

本工事主要部ナル矢板ノ製作ハ大阪市北區網島  
町地先舊淀川筋左岸埋立地ニ於テセリ其總面積  
ハ約八千坪ヲ有ヌ内約二千坪ヲ矢板ノ製作約二  
千坪ヲ矢板置場トシ殘部四千坪ヲ事務所鐵筋組  
立場、もるたし、みる小屋、せめんと倉庫、砂礫置場ニ  
使用セリ鐵筋組立小屋ハ附屬倉庫ヲ合セテ約七  
十坪ヲ有シ此内ニ以下列記セル如キ器具ヲ備ヘ  
鐵筋組立作業ヲ爲ス

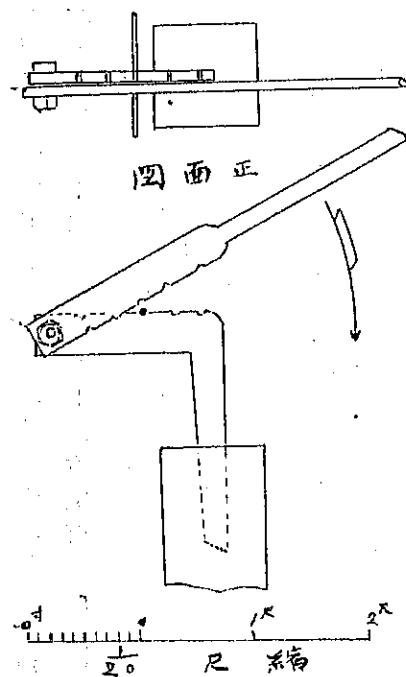
第二圖ハ矢板鐵筋縱材徑二分ノ一時鋼棒ヲ矢板  
頭部ノ形狀ニ相應セシムル爲二段ニ届曲スヘキ  
ヲ圖中矢ノ方向ニ一舉動ニテ仕上ケ得ヘキモノ

第一圖 施工面縦断面圖

平面圖

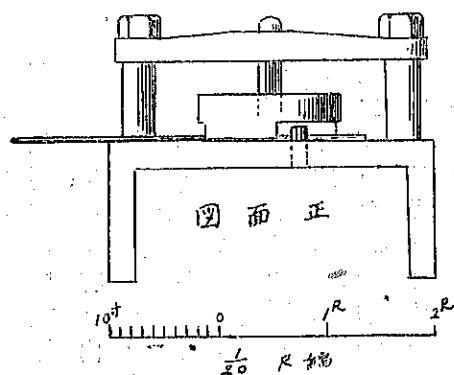


正面圖

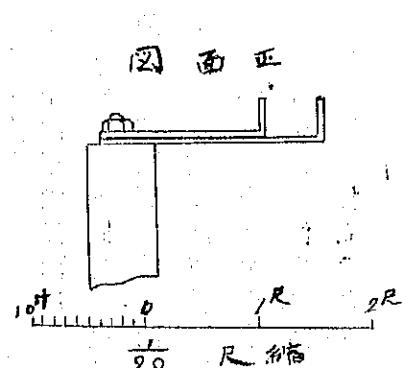


第三圖 平面圖

正面圖



第二圖 平面圖



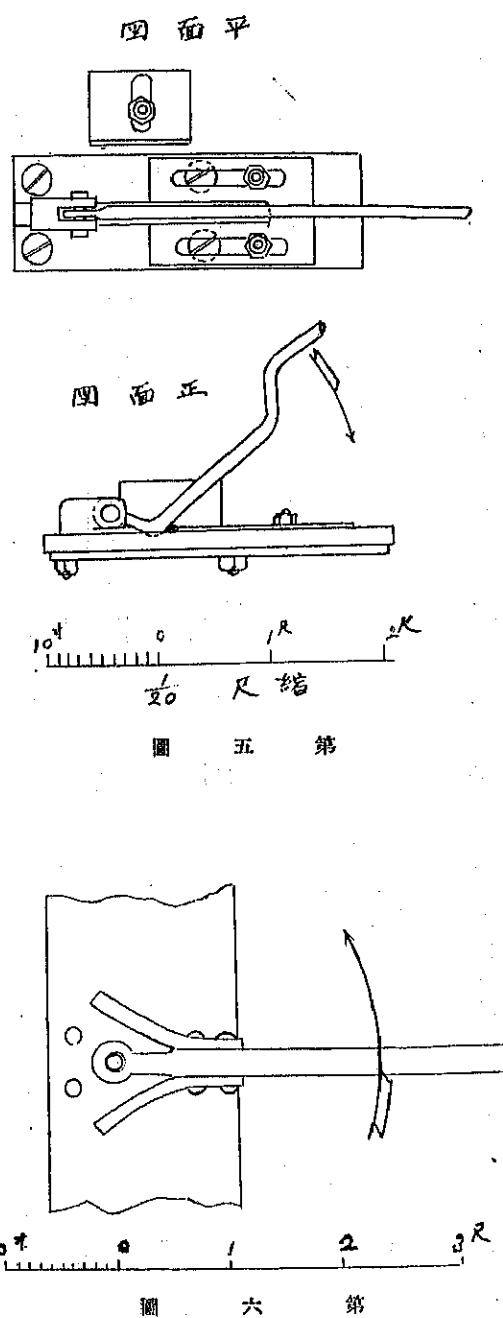
第四圖 平面圖

第三圖ハ横材徑八分  
ノ一時鋼棒ヲ所要ノ  
シテ其一侧ニ第四圖  
ノゲーブ板ヲ裝置セ  
リ第五圖ハ右横材ヲ  
矩形ニ又ハ兩端鉤形  
ニ屈曲スルモノナリ  
是等ノ鐵筋ハ矢板寸  
法ニ相當セル位置ニ  
形板ヲ以テ定メ二十

二番鐵線ニテ緊着ス是等ニ要スル人夫掛リハ十人一組トシ一日ニ矢板八十四本分許トス  
但シ矢板一本分ノ鐵筋用材ハ徑二分ノ一吋長十三呎七吋乃至十四呎二吋六本徑八分ノ一吋長二

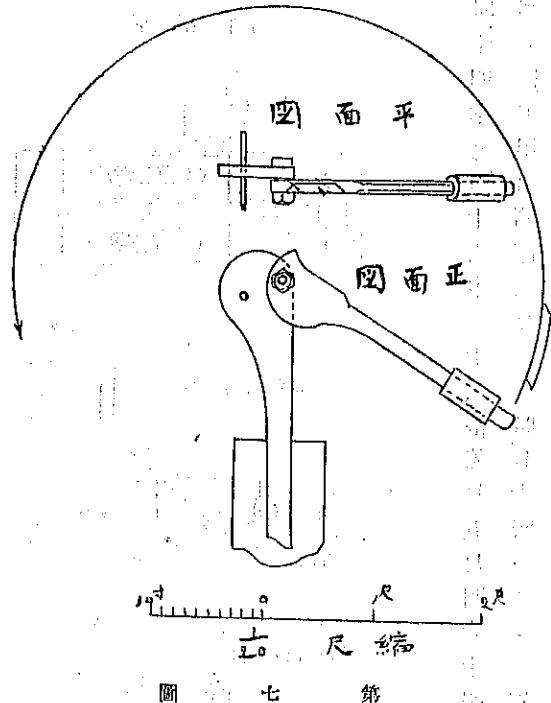
1129

呎四吋十四本乃至十六本、二十二番線長五尺四寸十四本又ハ十六本ナリ  
第六圖ハ控工用鐵筋徑二分ノ一吋、長六呎モノ、一端ヲ鉤形ニ曲クルモノニシテ第七圖ハ同工用  
徑四分ノ一吋鋼棒ノ切斷ニ供ス是等ノ鋼棒ハ矢板鐵筋同様ニ二十二番線ヲ以テ緊着ス控一個ニ  
付鋼棒徑二分ノ一吋、長五呎四本、徑四分ノ一吋、長二呎五吋五本、二十二番線長二尺四寸二十四本ヲ  
要シ人夫四人一組トシ一日ノ工程約四十八個分ヲ組立ツ

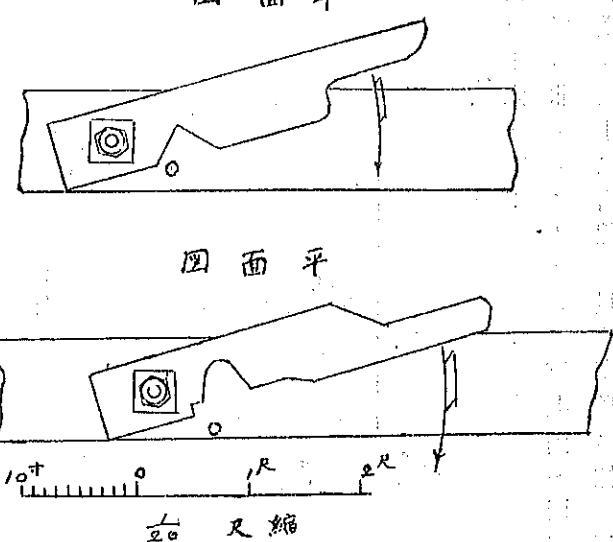


1130

連結工鐵筋材ハ徑四分ノ三吋、長二十呎モノ四本、徑四分ノ一吋、長二尺四寸及同徑長一尺二寸各二十本、三十二番線長二尺四寸八十三本ヲ以テ繫着スルモノニシテ内徑四分ノ三吋鋼棒ハ加工ヲ要ニシテ更ニ強力ナル器具ヲ用ヒ兩端鉤形ヲ與フ此作業ハ三人一組トシ一日一百五十本トス別ニ



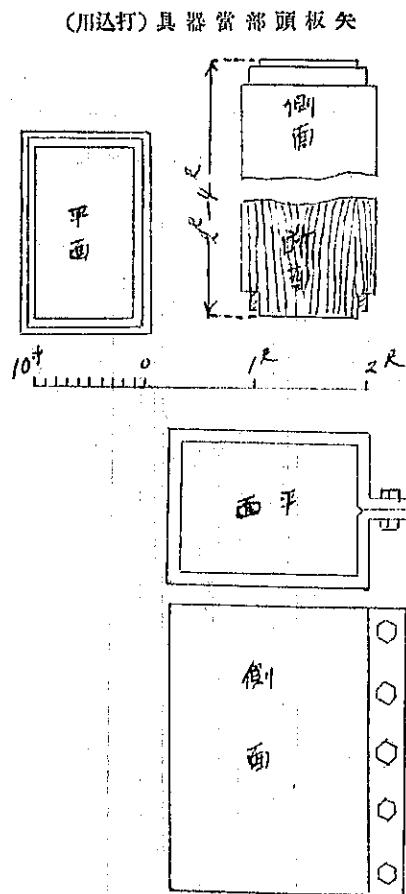
第 七 圖



第 八 圖

セス徑四分ノ一吋鋼棒ノ切斷ハ第七圖ノ器具ヲ用ヒ彎曲ニハ第八圖ノ器具ニヨルコト控工鐵筋ニ同シ而シテ連結工鐵筋組立ニハ人夫六人一組トシ一日全長二十尺物二十四組ヲ仕上ク連結工ト控工トヲ連絡セシムル控鋼棒ハ徑四分ノ三吋、長二十呎ニシテ第六圖又ハ第七圖ト同巧ニシテ更ニ強力ナル器具ヲ用ヒ兩端鉤形ヲ與フ此作業ハ三人一組トシ一日一百五十本トス別ニ

防腐ノ目的ニテニテニ塗付ニ亦三人一組一日一百本トス控棒兩端ヲ取付クヘキ鋼材ハ凡テ  
徑四分ノ三時ニシテ長一呎餘ニ過キサルヲ以テ是等ノ加工ハ凡テ鍛工ニ依ル  
以上ノ方法ニヨリテ鋼棒ノ鐵筋ニ使用セラレタル全重量ハ約十三萬貫ニ達セリ  
もるたゞ、みる小屋ニハ一回二立方尺練みるニ、臺ヲ据エ火力ニテ運轉ス一回ノ練方ニ十二分間ヲ  
要シ一自二臺約二百立方尺ヲ練上ケ矢板五十本餘ノ製作ニ應セリ  
矢板型臺數ハ一列六十八臺二十二列合計約一千五百臺、一日五十臺宛てんくりとヲ填充シ一ヶ  
月ヲ以テ一巡セシム此作業ニハ一日運轉手、火夫以下總人員二十名ヲ要ス  
矢板打込ニハ百二十貫ノ分銅ヲ有セルばいれん及ヒ水射用唧筒ヲ使用セルモ礫層又ハ散石在ル  
河床ニテハぶりすとまん浚渫機ノ助ケヲ仰ク

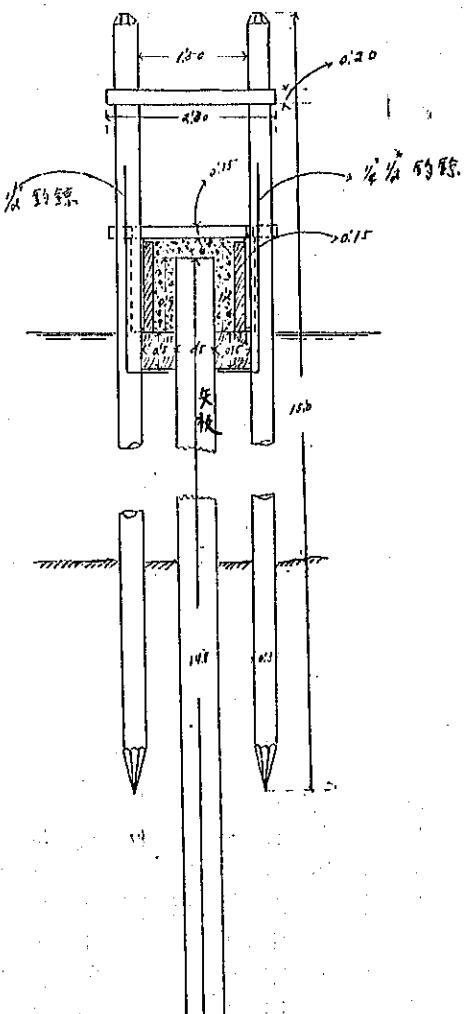


圖九

矢板打止頂點ハ略々干溝中間  
潮位ニアル爲メ時々水中打込  
ヲ要スルト打込中矢板頭部ノ  
挫碎ヲ防ク爲メ別紙圖面ノ如  
キ保護器ヲ裝置セリ打込作業  
ニハ運轉手以下九名一組トシ  
一日ニ二十本内外ノ工程トス  
打並ヘヲ丁セル矢板頭部ハ鐵  
筋こんくりーとニテ連結スコ  
ハ場所作リニテ人夫十八人一

連続工結とアーチ構造の断面図

一ノ分十三尺縮



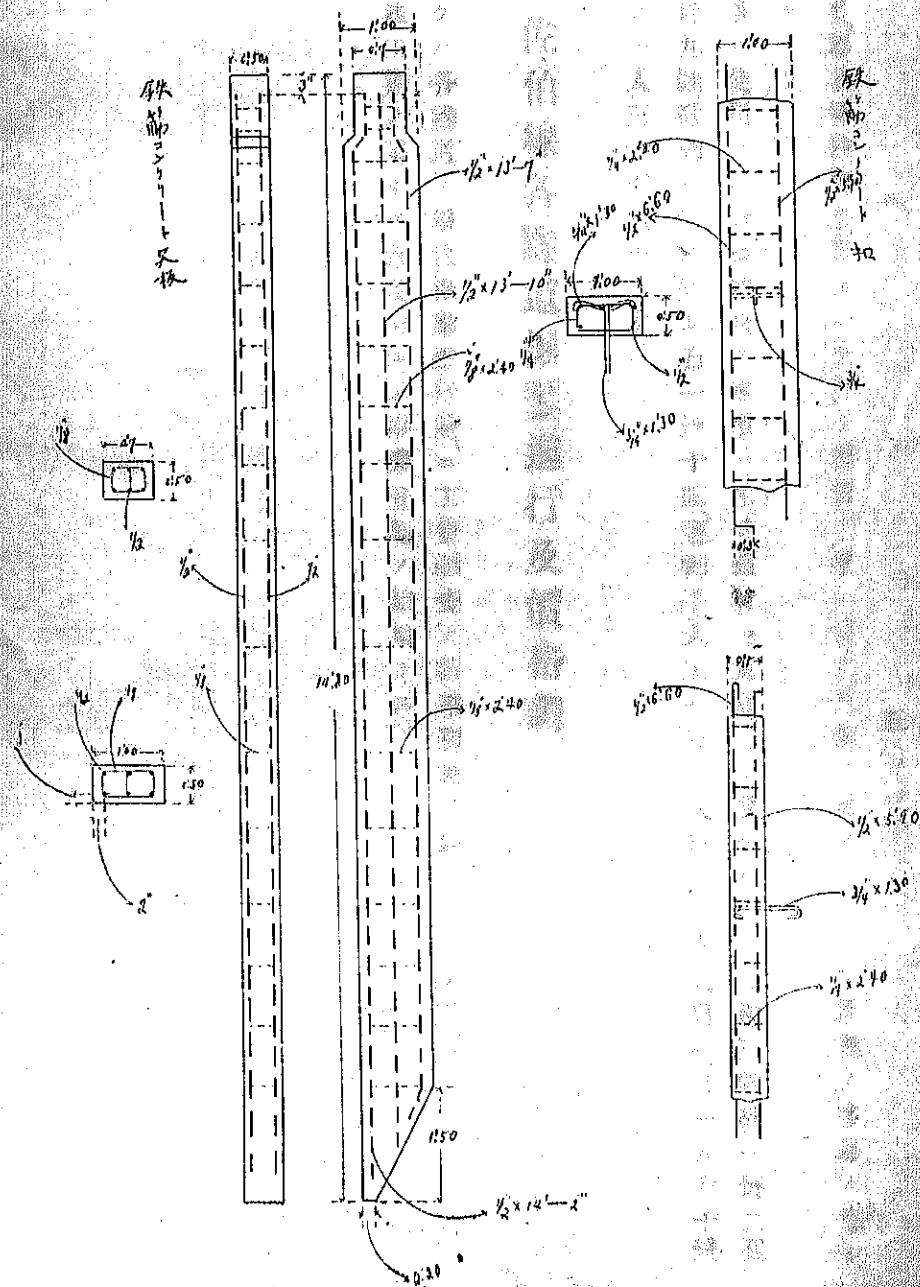
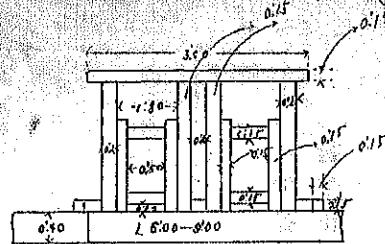
第十圖

工種	數量	單價 円	金額 円	摘要	
				打込費共	摘要
矢板	六本	四五〇	二七〇〇		
連続工	六尺	一六〇	三六〇		
控工	六尺	一六〇	三六〇		
上均工	六尺	八〇〇	三二〇		
裏込	五本	二五〇	一一五		
舟擦杭					

連続工終レハ控ヲ入レ裏込ヲ爲シ上均工をくりと施工シ護岸工ヲ完成セシム  
本工事延一間ニ付工費ハ材料賃金ヲ合シ凡ソ次ノ如シ

木板張作(II) 型組立橫斷面圖

一之分十三尺縮



雜費

二・三・五

五〇〇〇

計

右ノ外、型板費、器具機械費ヲ要スルヲ以テ間當工費ハ尙二、三割ヲ増スヘクヨハ間數ノ多寡ニ應シ  
増減アルヘキナリ

備考 本工事ニ使用セル材料賃金ノ單價ハ凡ソ鐵材一貫目三十錢、せめんと一樽三圓、砂一坪二圓、  
礫一坪九圓、砂利一坪八圓、割石一坪十圓、運轉手、大工一日一人各一圓、人夫男一日一人七十錢、  
女一日一人三十五錢ナリ(完)

### 佐伯線各隧道掘鑿進行及價格調

佐伯線ニ於ケル各隧道ノ導坑掘鑿進行並ニ工費調査ノ結果別表ノ如シ  
但各隧道竣工期ノ著シク遅延セルハ事業繰延ノ結果トス